

奈良の丘だより



横浜市立奈良の丘小学校

9月号

学校教育目標

笑顔いっぱい チャレンジいっぱい奈良の丘

<http://www-local.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/naranooka/>

ありのままを見つめて

校長 浅川 聡子

全国各地では熊本地震や千葉での豪雨など、甚大な自然災害が相次ぎ発生しております。被災された皆様、またそのご関係者の皆様に深くお見舞いを申し上げます。

登下校時や学校生活においても「当たり前の日常」のありがたさを改めて実感するとともに、子どもたちの安全確保と防災意識の向上に、より一層努めてまいります。

学校は、子どもたちからパワーをもらい、力強く動き出しました。子どもたちが夏休みに吸収してきた力を発揮できるよう、教職員一同、力を合わせて参ります。

さて、保護者の皆様におかれましては、どのように夏休みを過ごされましたか？お子さんと向き合う時間が増え、お子さんの成長を感じつつも課題ばかりに目が行き、叱ってばかり…とご自分を責めてしまうこともあったのではないのでしょうか。

6月に開かれたキッズクラブ第1回評議会で、NPO 法人放課後キャビン代表の難波江さんが、「泣きそうな夜に、そっと置きたい言葉」（「のの発達心理学 Room」より）を紹介してくれました。その中から一部をご紹介します。

＊「怒ってしまう」のは、大切なものがあるから ＊「比べてしまう」のは、理想をちゃんともっているから ＊「落ち込む」のは、本気で向き合っているから ＊「不安になる」のは、守りたい未来があるから ＊「ダメだった」と思うのは、次はよくしたい気持ちがあるから ＊「自分を責める」のは、本当はもっと優しくなりたいから・・・

これらの言葉は、私たち教職員の心にも沁みます。

目指す姿や、理想はあるけれど、自分の価値観で、自分を縛り、自分も子どもも苦しめてしまうことがあります。時には、自分の価値観をそっと緩めて、頑張っている自分を認めてあげることで、大変な日々も軽やかに乗り越えていけるようになるかもしれません。

ありのままの自分で、ありのままの子どもを見つめる。私たち教職員も、そこから、学びをスタートさせることを忘れずに、心を整えて向き合っていきたいと思います。

【ご報告】第2回あかね台中ブロック学校運営協議会が、7月15日（水）に開催されました。

田奈小学校授業参観では、子どもたちが伸び伸びと学びに取り組んでいる様子に刺激をいただきました。7月までの各学校の様子を報告し、今回は、専任より、ブロック及び、各校のいじめ防止対策について報告しました。また、教職員の不祥事問題については、協議委員の皆様から、教職員の使命感を問う厳しいご意見もいただきました。ご意見を真摯に受け止め、安心して子ども達を任せられる学校であるために、教職員一丸となってより一層努力して参りたいと存じます。